



2022年
RGA会社概要 (日本)



Making
financial
protection
accessible
to all

RGAについて

リインシュアランス・グループ・オブ・アメリカ・インコーポレーテッド(NYSE:RGA)は、世界有数の生命再保険会社です。2022年12月31日時点において、再保険引受保有額約3兆4000億ドル、総資産847億ドルを有し、米国大手企業『フォーチュン500』にランキングされています。

米国ミズーリ州セントルイスに本拠地を置き、個人生命再保険、第3分野再保険、団体生命再保険、健康保険の再保険、任意再保険、商品開発、および財務ソリューションを世界中のお客様にご提供しています。

RGAは、新たな視点や革新的なアイデアを重んじ、お客様と連携しリスク管理の改善、資本効率の向上、長期的な成長のために貢献いたします。

グローバルな事業展開

RGAは、グローバルな生命再保険会社であり、下記の各国に拠点を有し、世界中のお客様をサポートしています。アメリカ、カナダ、バミューダ、バルバドス、メキシコ、インド、オーストラリア、韓国、シンガポール、台湾、中国、日本、ニュージーランド、香港、マレーシア、アイルランド、イタリア、英国、オランダ、スペイン、ドイツ、フランス、ポーランド、アラブ首長国連邦、南アフリカ(地域別50音順)

目次

03 トップメッセージ

04 主な業績指標

06 グローバルな事業展開

07 ソリューション情報:

グローバル・ファイナンシャル・ソリューション

08 2022年度における各事業セグメントの事業概況

10 マーケット情報:日本

11 RGA 50年の歩み

専門的なソリューション

RGAの高度な専門性をもつ人材が豊富な経験や実績を駆使し、グローバルな事業展開でお客様のニーズに合った専門的なソリューションを開発し、当社のバーパス「すべての人に経済的な安心をお届けする」の実現を進めます。当社の専門性をお客様と共有化することで、以下の通り、お客様に数多くのメリットをご享受いただけます。

- RGAの広範囲なデータベースに基づく、死亡リスク、罹患リスクに対する深い理解
- 高額契約や特別条件体リスクの引受に強みを持つ世界トップクラスの任意再保険を活用した、成約件数の増大
- 最先端のリサーチや実績値に基づく、医的査定の専門知識の共有
- プロセスを合理化し、顧客の参画を高めるデジタルソリューション
- 新たな情報源から実用的な知見を引き出す高度なデータ分析力
- 業容拡大を支援する革新的な商品開発サポート
- 専門的な支払査定サポートによるコスト削減
- 死亡、罹患、長寿リスクの移転と資本要件の軽減を目的とした価格競争力のあるソリューション
- 保険会社の資本効率を向上させ、規制要件に対応し、ビジネス目標を達成するための財務ソリューション

安定的な成長の軌跡

(2022年12月31日時点)

総資産:847億ドル

+16%

(株式公開後29年間の平均成長率)

一株当たり簿価:162.16ドル

+8%

(株式公開後29年間の平均成長率)

時価総額:95億ドル

+11%

(株式公開後29年間の平均成長率)

トップメッセージ



「これまで以上に多くのビジネス成長の機会に恵まれ、世界中の多様なセグメントで新たなビジネスの獲得を推進しています。RGAは戦略的なパートナーとしてお客様に選ばれ、お客様の成功を加速する革新的なソリューションをお届けしています」

RGAはお客様に選ばれるグローバルな再保険会社であり、全てのステークホルダーに対して高い企業価値を持続的に創出することで定評があります。2022年は、不確実な時代にもかかわらず過去最高の収益を記録し、新契約の機運を高め、それを実証しました。

RGAは世界有数の再保険会社です。世界各国で事業を展開し、各市場で再保険会社として確固とした位置づけにあり、優れた人材が献身的に事業に取り組んでいます。高度な専門性と各国市場の知識を有し、イノベーションや多様性の受容、誠実さを醸成する協力的な企業風土を備えています。

RGAはお客様に選ばれた再保険会社です。業界を牽引するソートリーダーシップやお客様第一主義に加えて、お客様の成功を支え、良質なビジネス成長の機会を創出するソリューション志向のアプローチによって、長年高い評価を得ています。2022年もRGAの業界トップクラスの位置付けがあらためて認識され、NMGコンサルティングが行った再保険会社調査で、グローバルの「Business Capability Index(再保険取引能力指数)」により**12年連続で1位**を受賞する栄誉に輝きました。

RGAは持続的に高い企業価値を創出しています。保険業界そして世界がこれまでにないほど不確実な状況に直面する中、RGAの順応性、堅実さ、安定性に対して投資家、お客様、社員、他のステークホルダーから高い信頼を得られました。事業地域・商品ラインの多様化したグローバルなビジネスモデルに基づき、規律のあるリスクへの対応、社員の育成へのコミットメント、環境問題への配慮、企業の社会的責任を尊重することで、RGAは今日、そして今後何十年も成功を重ねていくと確信しています。

2023年はRGAの**創業50周年**の重要な節目にあたり、新たな取締役会長にスティーブン・オーヘンを迎えました。前会長のクリフ・イーソンの長年の功績を労うと共に、強固な基盤となったその見識や誠実さ、安定したリーダーシップに**感謝**いたします。

RGAにおける長年の成長の歴史において2022年に成し遂げた多数の成果はRGAを一つ上の段階へ引き上げてくれました。今後を見据えると、これからも**明るい見通し**を持っています。このように素晴らしいグローバル企業を経営してきたことを大変光栄に思います。私が退職する2023年末に、長年役員を務めてきたトニー・チェンがRGAのCEOに就任します。私と同様に、RGAは**これまで以上に盤石との見通し**をスティーブもトニーも確信し、大きな希望と期待を抱いています。

アナ・マニング

リインシュアランス・グループ・オブ・アメリカ・インコーポレーテッド
CEO

主な業績指標



トッド・ラーソン

リインシュアランス・グループ・オブ・アメリカ・インコーポレーテッド
シニア・エグゼクティブ・
ヴァイス・プレジデント兼CFO

リインシュアランス・グループ・オブ・アメリカ・インコーポレーテッド（ニューヨーク証券取引所コード:RGA）は、お客様に価値を提供し、株主に利益を還元するお客様第一主義およびソリューション志向の戦略で2022年に堅調な業績を上げました。マクロ経済やパンデミックに起因する逆風にもかかわらず、一株当たり調整済営業利益は14.43ドル*と過去最高を記録し、事業の収益力の強さを実証しました。

グローバル・ファイナンシャル・ソリューション部門の優れた業績、好調な投資収益、およびトラディショナル・セグメントの堅調な業績により、2022年の税引前調整済営業利益*は、2021年の1億2100万ドルに対し、13億ドルとなりました。2022年、税引前新型コロナウイルス感染症に関連する保険金支払推定額は約4億4700万ドルとなり、2021年の14億ドルから大幅に減少し、2020年から2022年の合計は約24億ドルとなりました。

事業地域・商品ライン、リスクにおいて多様化したグローバルなビジネスモデルにより、2022年に質の高い新規事業機会を創出しました。様々な事業セグメントにおいて引き続き好調な勢いが見られます。総収入は163億ドル、保険料収入は131億ドルで2021年と比較し、8.4%増（為替変動を除く）となりました。

RGAは、資本管理に対してバランスのとれたアプローチを継続し、魅力的な保有契約の取引および戦略的な資本配備を実行しました。2022年には、RGAは、保有契約およびその他の取引に4億3000万ドルの資本を配置し、配当および自社株式の買い戻しを通じて2億8000億ドルの資本を株主に還元しました。RGAは7500万ドルの普通株式を買い戻し、2022年末時点で余剰の資本は約12億ドルに上ります。

2018年、米国財務会計基準審議会は、通常、LDTIと呼ばれる、長期契約の計上および測定を大幅に変更する改正案を公表しました。RGAは、財務、アクチュアリーおよび情報技術の専門家から構成されるクロスファンクショナルなチームを本社並びに支店レベルでも編成

「RGAは、2022年に当社の事業の適応力を実証しました。新型コロナウイルス感染症のパンデミックにおいても、強固な財務基盤と保険ビジネスにおける広範な専門性により、引き続きお客様の成長をご支援することができました。私たちの成功を誇りに思います」

し、変更されたガイダンスの円滑な導入を支援しました。このガイダンスでは、方針、報告および評価プロセスの大幅な変更が必要となりました。2023年1月1日に施行される新たな報告要件を確実に満たすため、実質的に2022年中にこれらの変更を完了し、実施しました。LDTIは、RGAの長期的な業績に関するより良い知見を提供し、投資家に対して事業報告における透明性を高めます。

事業地域・商品ラインにおいて多様化したグローバルなビジネスモデルが功を奏し、RGAは、今後もお客様を支援し、魅力的な株主還元を行う位置づけにあります。

財務力格付け

RGAの米国に本拠点を置くRGAリインシュアランスカンパニーは、強固な財務基盤、収益力に基づいた保険金支払能力に対して、世界の格付け機関により非常に高い格付け評価を取得しています。2022年12月31日時点の格付け状況は、以下の通りです。

S&P保険財務力格付け	AMベスト	ムーディーズ
AA-	A+	A1
Very Strong	Superior	Good

なお、RGA アメリカス・リインシュアランス・カンパニー、RGAライフ・リインシュアランス・カンパニー・オブ・カナダ、RGAグローバル・リインシュアランス・カンパニー、RGAインターナショナル・リインシュアランス・カンパニー、RGAリインシュアランス・カンパニー・オブ・オーストラリア、RGAアトランティック・リインシュアランス・カンパニー、RGAワールドワイド・リインシュアランス・カンパニーおよびRGA リインシュアランス・カンパニー・バルバドスもS&P保険財務力格付けのAA-、オムニライフ・インシュアランス・カンパニーは同A+を取得しています。

また、RGAアメリカス・リインシュアランス・カンパニー、RGAライフ・リインシュアランス・カンパニー・オブ・カナダ、RGAアトランティック・リインシュアランス・カンパニーおよびオロラ・ナショナル・ライフ・アシュアランス・カンパニーは、AMベストよりA+の格付けを取得しています。

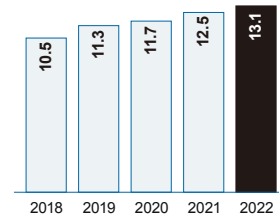
未来を見据えた戦略がもたらす堅調な業績

(単位: 10億米ドル)

米国大手企業「フォーチュン 500」にランキングされるRGAは、世界有数の生命再保険会社です。生命再保険および財務ソリューションをご提供し、2022年12月31日時点で再保険引受保有額約**3兆4000億ドル**を有します。

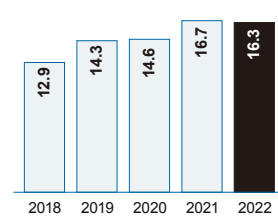
保険料収入(正味)

131億ドル



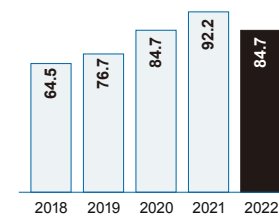
総収入

163億ドル



総資産

847億ドル



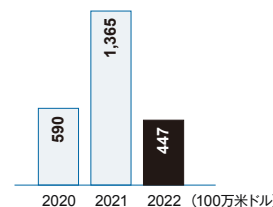
多様化したビジネスモデルが奏功

マクロ経済や新型コロナウイルス感染症のパンデミックに起因する逆風にもかかわらず、当社のグローバルに多様化したビジネスモデルに基づき、2022年を通して適応力と収益性を維持しました。

*新型コロナウイルス感染症関連の影響には、保険金・給付金(死亡・罹患リスク)の支払が含まれ、長寿によるビジネスへの影響を相殺しています。一株当たりの影響は24%の税調整後の推定額です。

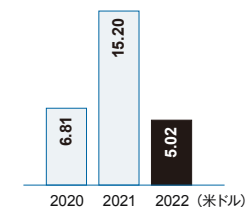
税引前新型コロナウイルス感染症に関連する保険金支払推定額*

4億4700万ドル



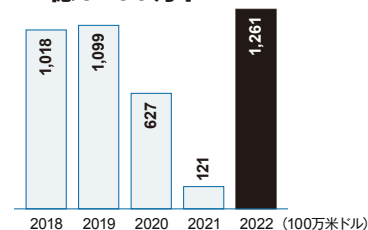
一株当たり影響推定額*

5.02ドル



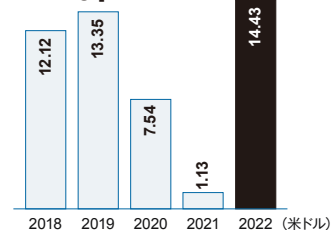
税引前調整済営業利益**

12億6100万ドル



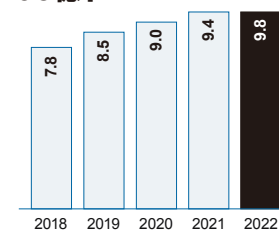
一株当たり調整済営業利益**

14.43ドル



その他の包括利益累計額(AOCI)を除く株主資本**

98億ドル



**GAAP会計基準に準拠しない財務指標

GAAP税引前利益から税引前調整済営業利益への調整(単位:100万米ドル) (1) 繰延新契約費控除後

各年12月31日に終了した事業年度

	2018	2019	2020	2021	2022
GAAP税引前利益	845.8	1,131.9	553.0	691.0	831.0
キャピタル(ゲイン)ロス、デリバティブ他(正味) ⁽¹⁾	204.0	(75.7)	22.0	(485.0)	435.0
組込デリバティブの公正価値変動 ⁽¹⁾	(31.9)	43.2	52.0	(85.0)	(5.0)
税引前調整済営業利益	1,017.9	1,099.4	627.0	121.0	1,261.0

一株当たり利益から一株当たり調整済営業利益への調整 (2) (希薄化後) 繰延新契約費控除後

各年12月31日に終了した事業年度

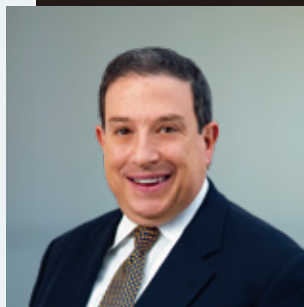
	2018	2019	2020	2021	2022
一株当たり利益	11.00	13.62	6.31	9.04	9.21
キャピタル(ゲイン)ロス、デリバティブ他(正味) ⁽²⁾	1.51	(0.55)	0.22	(6.26)	5.21
組込デリバティブの公正価値変動 ⁽²⁾	(0.39)	0.28	1.01	(1.65)	0.01
一株当たり調整済営業利益	12.12	13.35	7.54	1.13	14.43

GAAP会計基準の株主資本からAOCIを除く株主資本への調整(単位:100万米ドル)

各年12月31日に終了した事業年度

	2018	2019	2020	2021	2022
GAAP株主資本	8,451	11,602	14,352	13,014	4,145
以下を控除: 有価証券未実現益	856	3,299	5,500	3,701	(5,407)
為替換算調整累計額	(169)	(92)	(69)	(9)	(171)
未認識退職年金・給付	(51)	(70)	(72)	(50)	(27)
AOCIを除く株主資本	7,814	8,465	8,993	9,372	9,750

ソリューション情報: グローバル・ファイナンシャル・ソリューション



ラリー・カーソン

リインシュアランス・グループ・
オブ・アメリカ・インコーポレーテッド
エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント・
グローバル・ファイナンシャル・
ソリューション

「グローバル・ファイナンシャル・ソリューション部門が世界各国でご提供する専門性とソリューションは、RGAの今後何年にもおよぶRGAの増収増益の源泉であり続けると確信しています。お客様のビジネス目標の達成をサポートする有意義なソリューションをお届けできるよう今後も専心いたします」

グローバル・ファイナンシャル・ソリューション (GFS) 部門は、お客様から信頼されるパートナー、業界で尊敬されるリーダー、お客様に最初に相談したいと思っただけの再保険会社として、お客様の複雑で最重要なリスクやニーズにソリューションをご提供いたします。2022年も全ての事業地域、および資産運用型再保険、長寿リスク対応再保険、自己資本強化再保険にわたる全ての商品ラインで素晴らしい業績を収めました。税引前調整済営業利益*は8億1900万ドルに上り、過去最高を記録しました。

アジア太平洋地域では好業績を達成し、2022年の税引前調整済営業利益*は9700万ドルに上ります。規制要件の変更や金利環境の変化が続く中、財務ソリューションの需要が高まっています。

とりわけ日本や香港では多数の資産運用型再保険を締結し、アジア地域における同商品ラインの好調な業績

が際立ちました。2021年に韓国で業界初の共同保険式再保険を締結した後も、グローバル・ファイナンシャル・ソリューション部門はアジア市場で更なる事業の拡大を図りました。2022年にはタイの大手生命保険会社と業界初の資本ソリューションを締結しました。新契約を対象にしたRGAの独創的なソリューションは、リスクを削減し資本の柔軟性を高めながら、お客様が価格競争力の高い商品を市場に導入できるようご支援しました。

RGAは米国に本拠地を置き、イノベーションをご提供することで名高い再保険会社として、規制および専門性の双方の観点からアジア地域において新たなソリューションを開発できる体勢を備えています。グローバルな専門性、強固な財務基盤、確かな実行力に加えて、首尾一貫した規律のあるアプローチに基づき、RGAはお客様である保険会社の長期的な成功をご支援し、お客様の顧客に経済的な安心をお届けする安定した事業を行っています。

*GAAP会計基準に準拠しない財務指標 (GAAP税引前利益から税引前調整済営業利益への調整)

GFS (グローバル) (単位:100万米ドル) ⁽¹⁾ 繰延新契約費控除後	各年12月31日に終了した事業年度				
	2018	2019	2020	2021	2022
GAAP税引前利益	450.5	659	633	931	409
キャピタル(ゲイン)ロス、デリバティブ他(正味) ⁽¹⁾	84.8	(90.6)	(10)	(53)	367
組込デリバティブの公正価値変動 ⁽¹⁾	(23.5)	25.3	41	(79)	43
税引前調整済営業利益	511.8	593.7	664	799	819

GFS (アジア太平洋) (単位:100万米ドル) ⁽¹⁾ 繰延新契約費控除後	各年12月31日に終了した事業年度				
	2018	2019	2020	2021	2022
GAAP税引前利益	(6.0)	23.0	59.0	98.0	(18.0)
キャピタル(ゲイン)ロス、デリバティブ他(正味) ⁽¹⁾	13.5	(3.8)	(5.0)	(5.0)	115.0
税引前調整済営業利益	7.5	19.2	54.0	93.0	97.0

2022年度における事業の概況

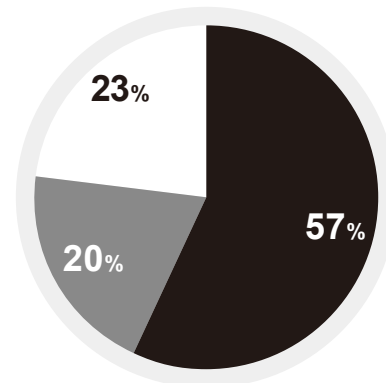
税引前調整済営業利益*は、8億1900万ドルになりました。

資産運用型再保険を多数締結し、同商品ラインの好調な業績を際立たせました。

米国市場における長寿スワップの先駆者として、RGAは2022年に2度目の長寿スワップの取引を締結しました。

資産運用型再保険のご提案により、欧州大陸市場における課題をお客様が乗り越えられるようご支援を開始しました。

2022年GFS部門 税引前調整済営業利益*： 8億1900万ドル



- 資産運用型再保険
- 自己資本強化再保険
- 長寿リスク対応再保険

GFS部門税引前調整済営業利益*の成長
(2017-2022年 5年間の年平均成長率)

+13%



サイモン・アルマンドスミス

ヴァイス・プレジデント
グローバル・ファイナンシャル・ソリューション開発

「新たな規制要件の導入も相まって、市場環境において資本管理の重要性が高まる中、RGAは、お客様に信頼されるパートナーとして財務ソリューションの分野で業界を牽引し、今後もお客様をご支援してまいります」

「お客様と共同で各社固有の資本ニーズを満たすようオーダーメイドの財務ソリューションを開発します。銀行窓販から代理店チャネルまで、円建、外貨建を問わず広範囲な商品を対象に、法定責任準備金のリリースだけでなく、お客様のビジネスの長期的な安定と成長をサポートいたします」

RGA日本支店
グローバル・ファイナンシャル・ソリューション開発部

「商品の多様化が進む中、RGAは第3分野を含む様々な商品の保有契約と新契約の両方を対象にしたソリューションをご提供することで、お客様がリスク管理や資本の最大化を実現しつつ価格競争力のある商品を市場へ導入するご支援をいたします」

2022年度における各事業セグメントの事業概況

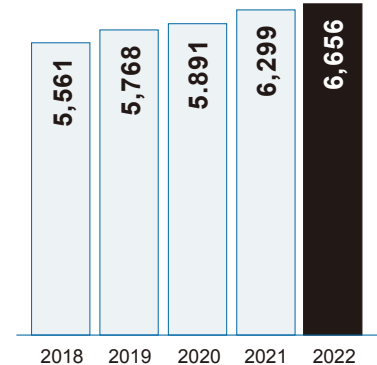
RGAは、地域・部門に基づき「米国およびラテンアメリカ」「カナダ」「ヨーロッパ、中東および南アフリカ(EMEA地域)」および「アジア太平洋」の四つの事業セグメントからなります。

地域別事業セグメントについて、2022年度における事業概況は以下の通りです。

米国およびラテンアメリカ

- RGAの最大の事業部門である米国は堅調な業績を上げ、総収入は87億ドルになりました。
- 個人生命保険分野では、任意再保険の照会件数が12万件を上回り、新契約高は12%増の1460億ドルになりました。
- NMGコンサルティングが2022年に行った米国団体生命保険・就業不能保険に関する再保険調査で元受保険会社より、イノベーションで第1位に評価されました。
- ラテンアメリカにおける事業は業界トップクラスの位置づけを強化し、2022年の収入は過去最高の3億7500万ドルになりました。

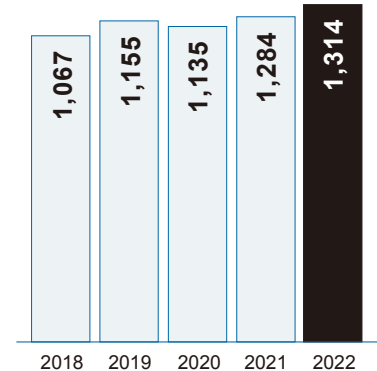
米国およびラテンアメリカにおける
保険料収入(正味)
(単位:100万米ドル)



カナダ

- 2022年、カナダにおける事業は創業30周年を迎えました。カナダの生命保険業界の適応力やセキュリティを強化することでお客様に対応しています。
- カナダにおける事業は、個人生命再保険の引受保有額が6000億カナダドルを超え、大きな節目を迎えました。カナダの再保険会社の中で最大の個人生命保険引受保有額になります。
- 実績のある成長戦略により、総収入は16億ドルとなりました。
- NMGコンサルティングが行った再保険会社調査において、過去14回のうち13回の調査(2022年を含む)で、カナダの「Business Capability Index(再保険会社能力指数)」で、元受保険会社より、第1位に評価されました。

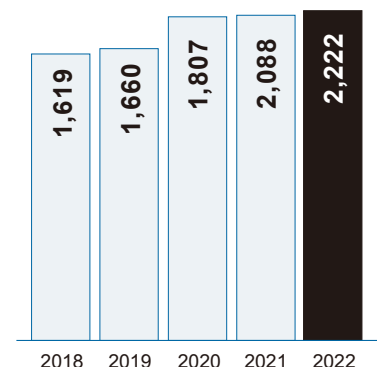
カナダにおける保険料収入(正味)
(単位:100万米ドル)



ヨーロッパ、中東および南アフリカ(EMEA地域)

- トラディショナル・セグメントは、EMEA市場全体を牽引しました。
- EMEA地域は、中東・インシュアランス・レビュー誌による2022年中東・インシュアランス・インダストリー・アワードにおいて「Life Reinsurer of the Year(生命再保険会社年間最優秀賞)」を受賞しました。
- EMEA地域のグローバル・ファイナンシャル・ソリューション部門は、欧州大陸向けに資産運用型再保険取引の開発に専心し、変化を続ける経済、規制要件、会計基準に対応するお客様をご支援しました。

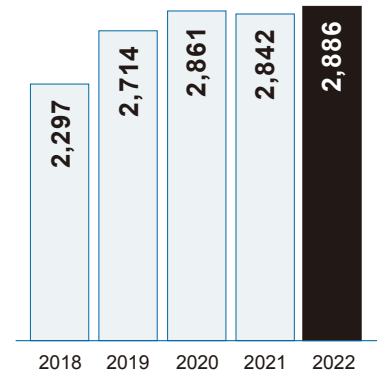
EMEA地域における保険料収入(正味)
(単位:100万米ドル)



アジア太平洋

- アジア太平洋は、オーストラリア、ニュージーランドに加えて、アジア地域全体を網羅し、インド、韓国、シンガポール、台湾、中国、日本、香港、およびマレーシアに拠点を有します。
- アジア太平洋地域における事業は、パンデミックに関連する課題やマクロ経済の低迷にもかかわらず、順応性を発揮し、2022年には堅調な業績を上げました。
- オーストラリア市場の改善と相まって、規律ある成長に注力することにより、オーストラリアにおける事業は業績を好転させ、市場のリーダーとしてのRGAの地位を強化しました。
- アジア太平洋のグローバル・ファイナンシャル・ソリューション部門は非常に好調な業績を収め、資本の最適化を図るお客様をご支援しました。

アジア太平洋における保険料収入(正味)
(単位:100万米ドル)



トニー・チェン

RGAリインシュアランスカンパニー
社長

2022年、RGAはEMEA地域、アジア、オーストラリアにおいて、イノベーターおよびソリューション・プロバイダーとしての地位を強化しました。パンデミック関連の課題やマクロ経済の低迷にもかかわらず、これらの地域は順応性を維持し、トラディショナルおよびグローバル・ファイナンシャル・ソリューションの事業の継続的な拡大により、堅調な成果を収めました。

RGAXのイノベーションの専門家と協力し、RGAは高度に専門的なスキルを活用し、お客様のニーズに対応したデジタル・ソリューションを提供することに重点を置きました。日本では、RGAのデータを利用した査定結果管理プラットフォームであるAURA NEXTを基盤に、数分以内に任意再保険の査定結果を

出す業界初のデジタル再保険引受査定ツールを立ち上げました。EMEA地域向けに開発したRGAのデジタル引受査定エンジンであるUWPaiは、お客様へのサービス内容を充実させ、デジタル引受査定システムから定期的かつ効率的な最適化のアップデートを提供することで、パフォーマンスを向上させ、最新の医学的な知見を取り入れられるようにしました。ミレニアル世代の女性を対象にした革新的ながん保険の発売にも利用されています。

アジア太平洋のグローバル・ファイナンシャル・ソリューション部門は、非常に好調な1年でした。規制要件の変更、金利上昇、新型コロナウイルス感染症の保険金請求による継続的な影響により、資本を最適化しようとするお客様の財務ソリューションの需要が高まりました。日本では、資産運用型再保険取引が過去最高の取引数となり、香港の資産運用型再保険市場が再活性化することでいくつかの取引が成立し、同地域における主導的な地位が強化されました。EMEA地域のグローバル・ファイナンシャル・ソリューション部門は、2022年に堅調な業績を収め、多数の見込案件を抱えています。特に英国とオランダで培った長寿リスクに対応する再保険の専門知識により、RGAは同地域においてこの分野のリーダーとして位置付けられています。



アーサー・尾関

エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント
兼ヘッド・オブ・アジア

RGAは独自の商品開発アプローチをとることで、地域の市場をリードするポジションを維持しています。RGAの新たな革新的エコシステムは、効率を向上させ、力強い新契約成長を生み出しています。また、このアプローチの一環として、RGAの独創的なソリューションをお届けするためのチームを編成し、お客様がより多くの人々に経済的な安心を提供できるように支援しています。お客様の地域社会のニーズに即し、差別化された収益性の高い商品やソリューションを提供するためのお客様の取り組みに力添えすることで、互いの信頼、信用、尊敬がはぐくまれ、RGAも繁栄することができます。

マーケット情報:日本

RGAリインシュアランスカンパニー日本支店 2022年度事業概況

日本の事業は、2022年も好調な実績を収めました。大手生命保険会社との大規模な資産運用型再保険ビジネスをはじめ、グローバル・ファイナンシャル・ソリューション部門は日本で過去最多となる取引を締結しました。NMGコンサルティングが行った2022年再保険会社国別調査において、日本は「Business Capability Index(再保険会社能力指数)」で、生命保険会社より4年連続で第1位の評価を得る栄誉に輝きました。

保険業界の業況は、リモートによる募集活動をいち早く取り入れ、顧客との直接的な接触を持つハイブリッド型の営業も効果的に導入することで、新契約が減少したコロナ禍当初に比べ大きく好転しました。市場拡大の鍵を握る販売チャネルの競争激化により、保障の魅力を高めることが急務となる中、RGAは、お客様の商品開発に協力し、手頃な価格で消費者への保障の価値を高めた革新的なソリューションをご提供しています。2022年には公的医療制度を補完する保障の開発をはじめとして広範囲なソリューションやサポートを多数ご提供しました。また、日本において事業を開始して以来構築してきた引受査定専門性を活用してソリューションを多様化させながら、任意再保険ビジネスでは2022年に6万2000件超の申込を査定し、業界トップクラスの位置づけを維持しています。

コロナ禍を踏まえてデジタル化や自動化の推進が一段と図られる中、RGAは2022年に日本の保険業界初の再保険引受デジタルソリューション、ARIUSを市場に投入しました。長年培った引受査定の専門性や当社の優れた自動査定のプラットフォームに基づき、任意再保険の査定回答を即時にご提供するこの取り組みは、業界全体のエコシステムを変革し、お客様のリスク引受を拡大してビジネス成長をサポートすると共に、引受査定の業務効率改善を実現します。また、RGAはSaaS型自動査定プラットフォームAURA NEXTへの移行を促進することで日本のお客様のリスク低減やコスト削減をサポートしています。

グローバル・ファイナンシャル・ソリューション部門は、近年の成長の勢いを反映し、非常に好調な実績を収めました。コロナ禍に関連する保険金請求の影響や金利上昇、法定会計上の課題に直面し、資本管理ソリューションを模索するお客様が増加しています。また、運用利回りの向上や新商品開発の機会を含め、再保険の活用に関する引き合いも多く、RGAは同ビジネス分野を長期的な重点戦略の一つに位置づけ、お客様のサポートの向上や体制の強化に注力しました。

不確実な社会経済環境において保険業界が果たすべき役割がますます重要になり、健康で長生きをするという社会のニーズに対応するため、調査・研究やプロジェクトの実行を通して高度な知識や識見を蓄積し、お客様に革新的なソリューションをご提案しています。経済価値ベースのソルベンシーに基づく資本管理の考え方が業界に浸透しつつある中、RGAは信頼されるパートナーとして将来を先取した対応を今後行ってまいります。

2022年には、対面によるセミナーの開催を復活させ、例年の商品開発に加えて、多様性と受容をテーマにしたセミナーを業界役員の方々向けに実施し、財務ソリューションや最新医学情報等、多様なテーマのオンラインセミナーやトレーニングも継続しました。2022年は、業界紙への寄稿によりRGAの知見の共有化に努め、日本アクチュアリー会や日本保険医学会等が開催する講演等にも講師を派遣しました。RGA日本支店は、コミュニティへの貢献として社会貢献活動の取り組みも強化しました。東京都が発行する地方債、グリーンボンドを購入し、生活環境の向上に関連した事業の資金調達を支援しています。RGAは、事業や社会貢献活動を通して「すべての人に経済的な安心をお届けする」というRGAのパーパスの実現に邁進しました。

RGA 50年の歩み

RGAは、1973年のつつまじやかな出発から、世界有数の再保険会社としての今日の地位に至るまで、目覚ましい成長と成功を成し遂げました。お客様第一主義、イノベーション、ソリューション志向のアプローチに基づき、お客様、パートナー、投資家に意味のある価値を創造することで成功を支えてきました。



1973	ジェネラル・アメリカン・ライフ・インシュアランス・カンパニーが最初の生命再保険ビジネスを締結し、後に RGAとなる事業を開始	2015	RGAのイノベーションセンターであるRGAXを設立
1978	業界で類を見ない査定回答24時間以内のサービス基準での任意再保険を主要戦略として採用	2016	アナ・マニングが、グレッグ・ウッドリングの後任として社長兼CEOに就任。また、慈善活動を強化するためRGA財団を設立
1979	ジェネラル・アメリカンの再保険部門に、初のアクチュアリー、即ちその後30年以上にわたり社長兼CEOとしてRGAを率いたグレッグ・ウッドリングが加わる	2017	● 任意再保険の年間照会件数が記録を更新し、8万5000件を超える
1992	海外市場への事業拡大を開始。 再保険引受保有額1,000億ドル保有契約の再保険という新たなマイルストーンを達成	2018	● 日本において管理する保有契約が200万件を超える
1993	リインシュアランス・グループ・オブ・アメリカ （ニューヨーク証券取引所コード:RGA）が IPOを実施	2020	新型コロナウイルス感染症によるパンデミックが蔓延する中、RGAが果たす重要な役割を再認識。（2022年までに新型コロナウイルス感染症関連の保険金支払は25億ドル超）RGAは迅速に在宅勤務へ移行し、更なるデジタル化を進め、多様な分野でソートリーダーシップを発揮。RGA財団から助成金を提供し、最前線でコロナに対応する活動を支援 ● 日本における創業25周年 アクチュアリー、査定者、医長等、専門職が3割以上を占める体制でお客様にサービスをご提供 「優れた人材と揺るぎない忠誠心により日本支店を築き上げ、日本においてRGAは、卓越した引受査定の特長性や再保険取引の実行力を活かしたソリューションをご提供する業界トップクラスの生命再保険会社になりました。イノベーションへの情熱やお客様第一主義により、今後ますます成功を収めていくことを確信しています」 アーサー・尾関 エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント兼 ヘッド・オブ・アジア
1994	グローバル展開を強化。アジア太平洋部門およびスペインにオフィスを開設。ラテンアメリカでも事業を開始	2021	第25回2021年アジア・インシュアランス・インダストリー・アワードにおいて「Life Reinsurer of the Year(生命再保険会社年鑑最優秀賞)」を受賞し、複数の市場における主要な長寿リスク対応、資産運用型再保険取引、自己資本強化再保険取引など、世界中で大きな成果を収める。韓国初の共同保険契約を締結
1995	● 8月1日 東京駐在員事務所を設立 「日本は世界第2位の経済大国で、米国に続き世界第2位の保険市場でありながら、米国と異なり再保険の付保率はごく僅かにすぎません。日本はRGAにとって非常に重要な市場であり、拠点を置くことは戦略的な動きでした」 ブレンダン・ギャリガン 元アジア太平洋担当 シニア・ヴァイス・プレジデント	2022	機械学習の技術を適用し、任意再保険の引受査定プロセスを強化。RGA初のESG(環境・社会・ガバナンス)報告書を発行し、責任ある資産運用を行い、「 すべての人に経済的な安心をお届けする 」という パーパス の推進を共有化。DEI(多様性、公平性、包括性)の取り組みでインテリジェント・インシュアランス誌による表彰を受賞
2000	MetLifeがジェネラル・アメリカンを買収し、RGAは実質上傘下へ	2023	トニー・チェンを社長に任命。アナ・マニングは引き続きCEOとしての職責を担い、2023年末に退任。取締役会は、2024年1月1日付でチェンをCEOに任命予定 50周年。パートナーシップ、進歩、社会に与えたインパクトを祝う
2001	RGAテクノロジー・パートナーズを設立。AURA®(自動引受査定ソリューション)等、生命保険ビジネスに関するテクノロジーを開発		
2003	● 11月19日 外資系生命再保険会社として初めて監督当局より認可を取得し、 日本支店を設立		
2007	● 東京ミッドタウン(現所在地)へ移転		
2008	MetLifeから分離独立。RGAは完全に独立した企業として新たな発展の段階へ。		
2010	米国大手企業『フォーチュン500』で321位にランキング。 ● 業界トップクラスの自動査定システムAURA®を日本で初めてお客様に実装。		



著作権は当社に帰属し、無断複製・転載を禁じます。RGAは、本資料において提供される情報の正確性を確保するため相応の努力を払うものとし、当該情報の誤りまたは遺漏に関し一切責任は負いません。

本資料に関する詳細情報は、下記へご連絡ください。

RGAリインシュアランスカンパニー日本支店

〒107-6241 東京都港区赤坂9丁目7番1号 ミッドタウンタワー41F
TEL:03-3479-7191(代表) www.rgare.com